

政策体系	政策No.	4	政策名	育み磨きあうまちづくり			施策主管課	教育総務課	
	施策No.	5	施策名	学習機会の充実	重点施策		施策主管課長名	東郷 一徳	
施策関係課名	総務課、商工振興課、生涯学習課、図書館、メディアセンター								
1 基本計画期間(平成20年度～平成24年度)における施策の方針									
学習活動の場を確保し、学習内容を充実させるとともに、より多くの市民の参加を呼びかけるなど、学習に関する情報提供に努める。									
2 施策の目的と成果把握									
対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)			市民						
対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
A	人口	人口	見込み値	127,871	128,128	128,383	128,640	128,868	129,098
			実績値	127,773	127,450	127,662			
B			見込み値						
			実績値						
C			見込み値						
			実績値						
意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)			生涯にわたって自らが意欲をもって学習する						
成果指標 (意図の達成度を表す指標)		目標達成(105%以上)			目標をほぼ達成(95%～105%未満)		目標を未達成(95%未満)		
		単位	区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
A	学習している市民の割合	%	成り行き値	50.0	49.0	48.0	47.0	46.0	45.0
			目標値	51.0	52.0	53.0	54.0	54.0	55.0
			実績値	51.0	58.0	57.4			
			達成率	100%	112%	108%			
			結果						
B			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						
C			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						
D			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						
E			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						
成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)				平成24年度の目標値設定の考え方					
A...学習している市民の割合 総合計画進行管理に係る市民意識調査				A 「学習している市民の割合」については、市民意識調査(平成18年度)によると、51%と半数を超えているが、「全く学習をしていない割合」についても41%と高い状況にある。今後、開設時間等に配慮するなど学習に参加しやすい環境づくりに努めることにより4%の成果向上を目指す。					
				B					
				C					
				D					
				E					

3 基本計画期間で解決すべき施策の課題(総合計画書より)

- 市民が少しでも多くの学習機会にふれることができるよう、「いつでも・どこでも・だれでも」学習できる環境を整備していく必要がある。
- 公民館講座は、講座の内容によって受講希望に偏りがあるので、市民のニーズを十分把握し、それに対応した講座を開設する必要がある。
- 市民意識調査(平成18年度)において、「学習を全く行っていない」と答えた割合の多い就労年代層の学習意欲を向上させることが必要である。

4 施策の特性・状況変化・住民意見等

この施策の役割分担をどう考えるか(協働による市民と行政の役割分担)

ア) 行政の役割 (市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)	イ) 市民(住民、事業所、地域、団体等)の役割
行政 ・学習情報の提供を広く行う。 ・ニーズに合った学習の場や機会の提供を行う。(図書館・公民館等での学習など) ・誰でも気軽に学習できる環境の整備を行う。(申込みの簡素化、OA機器の活用等) ・将来を見据えた指導者の育成を行う。	市民 ・何事にも興味・関心を持ち、前向きに学習しようとする意欲を持つ。 ・生きがいを持つ。 ・広報誌や情報誌をよく見る。 ・余暇を有効に活用する。 ・同じ趣味をもつ仲間をつくる。 ・一人ひとりが学習に参加しやすいような職場づくりが事業所に求められる。

施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

- 高齢化社会が進む中、高齢者のニーズを踏まえた講座など、積極的に取り入れていく必要が出てくる。
- 中核都市であり、勤労者の増加が見込まれるので、勤労者を見据えた講座等を実施していく必要性が増してくる。
- 個人一人ひとりの情報ニーズが多様化する中、図書館等の本の貸出しの利便性や蔵書の充実を図る必要がある。
- 市民意識調査結果によると、学習を「全く行っていない」という人が約41%にもぼっており、今後、学習情報の提供など、更なる工夫・改善の必要がある。

この施策に対して市民(対象者、納税者、関係者等)、議会からどのような意見や要望が寄せられているか?

- 公民館講座の人気講座に対しては、希望者が多く学習できない人が出ており、開設増の声が多い。
- 時代に即した公民館講座を開設して欲しいとの声が高い。
- 図書館の蔵書を増やして欲しい。
- 図書館のネットワーク等の整備を行い、市内全域において本の貸出しの簡素化を図って欲しい。
- メディアセンターの機器の更新等をしてほしい。

5 施策の現状

平成21年度施策の取組方針	平成21年度施策の取組方針の達成状況
・学習情報の提供・学習機会の充実を図る。 ・市民のニーズにあった短期講座等を開設する。 ・市民の利便性を高めるため、国分、隼人両図書館に共通のシステムを導入し、連携を図る。	・募集チラシやホームページ・広報誌等で、公民館講座等の学習情報を提供し、学習機会の充実に努めた。 ・市民のニーズを把握し、地域に根ざしたテーマの講座を身近な場所で開設した。 ・国分・隼人両図書館に共通電算システムを導入し、1枚のカードで両図書館の本を借りることができるなど、利便性を高めた。

平成21年度施策の目標値と実績値の比較

- 目標達成 105%以上
- 目標をほぼ達成 95%～105%未満
- 目標を未達成 95%未満

平成21年度成果指標				結果
目標値	実績値	達成率		
A	53.0	57.4	108.0%	
B				
C				
D				
E				

平成21年度施策の成果指標の達成状況及び要因

- 学習している市民の割合については、前年度に比較して0.6ポイント下回っているものの、目標値に対しては4.4ポイント上回っている。その要因としては、公民館講座のみならず、あらゆる学習の機会があることや、気軽に学習をする環境が整っていることが考えられる。

基本事業の

目標達成度
(平成21年度目標と実績との比較)

= すべての目標値を達成 = 一部の目標値を達成 x = すべての目標値を未達成

学習環境づくり	x		
学習活動の推進	x		

6 平成22年度の施策の取組方針 (昨年度マネジメントシートより)

- 各種講座情報の収集、提供を行う。
- 市民のニーズにあった短期講座等を開設する。
- 学習機会の地域間格差を解消するため、すべての公民館図書室と国分・隼人両図書館とのネットワークを構築する。

7 平成23年度に向けた施策の課題・方向性

- 市民が少しでも多くの学習機会にふれることができるよう、20代の若者や男性の参加が期待できるような講座を設定する。
- さらに市民に図書館を活用してもらうため、図書館のホームページ等の充実や、電算システムのスムーズな運用を図る。
- 市民のニーズに応じたメディアセンター講座の運営の充実を図る。

基本事業	4-5-1	基本事業名	学習環境づくり	基本事業 主担当課	生涯学習課
------	-------	-------	---------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針	
基本計画期間における取組み方針 (総合計画書より)	
<ul style="list-style-type: none"> 市内のどの地区でも学べる学習環境づくりを推進する。 本市及び市内各地区に関する学習テーマを設定するなど、地域に根ざした学習活動及び公益性のある学習活動を推進する。 図書及び電算ネットワークシステムの整備等を行い、本の貸し出しの簡素化を図る。 	
対象	市民
意図	地区に合った学習を行う環境が整う。

2 基本事業の指標等の推移		目標達成 (105%以上)		目標をほぼ達成 (95% ~ 105%未満)			目標を未達成 (95%未満)		
成果指標名	単位	成果指標の測定方法	数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年度)
A 住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	29.0	29.0	29.0	29.0	29.0	29.0
			目標値	30.0	30.0	31.0	31.0	32.0	32.0
			実績値	26.4	31.2	26.6			
			達成率	88%	104%	86%			
			結果						
B			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
C			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
D			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠
平成24年度の目標を32%に設定する。市民意識調査の「学習環境が整っているか」の問いに対し、整っていると答えた人は29%と低い地域によって差があるものと推測される。意識調査結果で比較的高い水準の地域(国分の水準)を参考に目標値を設定する。なお、わからないと答えた人が16%にもぼっている。平成18年度は、合併1年目ということもあり、学習情報の提供が不足していた面もあると思われるので、情報の提供に努め、市民の生涯学習に対する意識も年々高めていきたい。

4 平成21年度基本事業の取組方針	5 平成21年度基本事業の取組方針の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 各種講座の情報提供など広報活動の推進を図る。 市民に人気の高い、地域に密着した短期講座の内容充実を図る。 市民の利便性を高めるため、国分・隼人両図書館に共通のシステムを導入し、連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 募集チラシやホームページ・広報誌等で、公民館講座等の学習情報を提供した。 市民のニーズを把握しながら、地域に密着した短期講座となるよう内容充実を図った。 国分・隼人両図書館に共通電算システムを導入し、自宅からでもインターネット検索が行えるなど、利便性を高めた。

6 平成21年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因
住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合については、前年度と比較して4.6ポイント、目標値に対して4.4ポイントともに下回っている。その要因については、地域によって学習環境や設備に格差があることが考えられる。

7 平成22年度基本事業の取組方針	8 平成23年度に向けた基本事業の課題・方向性
<ul style="list-style-type: none"> 講座開設募集方法など広報活動の推進を図る。 気軽に参加でき、地域に密着した短期講座の内容充実を図る。 メディア情報機器の整備充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内のどの地区でも学べるよう、地域の特性を活かした講座や、生活に密着する特定のテーマを設定した講座を開設するなど、学習環境の充実を図る。 さらに市民に図書館を活用してもらうため、図書館のホームページ等の充実を図るとともに、インターネット検索の活用の広報等を行う。

基本事業	4-5-2	基本事業名	学習活動の推進	基本事業 主担当課	生涯学習課
------	-------	-------	---------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針

基本計画期間における取組み方針 (総合計画書より)	
<ul style="list-style-type: none"> ・青年層のニーズに合った夜間講座等の開設を行う。 ・自ら進んで学習できる場の提供を行うとともに、学習を通じたネットワーク(仲間)づくりを推進する。 ・土・日・祝日を利用した講座の開設を行う。 ・指導者としての地域人材を発掘するなど、身近な学習の場の確保に努める。 ・大学や企業、NPO等の団体と連携し、公開講座や出前講座等ができる体制を整える。 	
対象	市民
意図	自身のテーマに沿った学習機会が得られる。

2 基本事業の指標等の推移

成果指標名	単位	成果指標の測定方法	数値区分	目標達成(105%以上)			目標をほぼ達成(95%~105%未満)			目標を未達成(95%未満)	
				19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年度)		
A 学習活動を行わない理由として自身のテーマに沿った学習機会がないことをあげている市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	14.0	15.0	16.0	17.0	18.0	19.0		
			目標値	12.0	12.0	11.0	11.0	10.0	10.0		
			実績値	10.1	14.8	11.9					
			達成率	116%	77%	92%					
			結果								
B 学習活動を行わない理由として、時期や時間が合わないをあげている市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	19.0	20.0	21.0	22.0	23.0	24.0		
			目標値	17.0	16.0	15.0	14.0	13.0	12.0		
			実績値	17.5	24.6	23.4					
			達成率	97%	46%	44%					
			結果								
C			成り行き値								
			目標値								
			実績値								
			達成率								
			結果								
D			成り行き値								
			目標値								
			実績値								
			達成率								
			結果								

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

2つの成果指標はいずれもこのまま推移すれば成果水準の低い若年層が年齢を重ねることによって徐々に低下していくものと考えられる。目標値としては、徐々に向上させることで、比較的水準の高い60代後半の水準を参考に設定し、10%と12%とする。

4 平成21年度基本事業の取組方針

- ・青年層が受講しやすい夜間、休日等の講座の推進を図る。
- ・自主講座や同好会などで学習しようとする意欲ある市民の支援を図る。

5 平成21年度基本事業の取組方針の達成状況

- ・受講しやすい環境を整えるため、夜間・休日等にカラーコーディネイト講座を実施した。
- ・定期講座終了後、自主講座開設の推進を行った。

6 平成21年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

学習活動を行わない理由として自身のテーマに沿った学習機会がないことをあげている市民の割合については、前年度を2.9ポイント下回ったものの、目標値に対しては0.9ポイント上回っている。その要因としては市民の学習ニーズが多岐にわたり、把握が困難なことが考えられる。

学習活動を行わない理由として、時期や時間が合わないをあげている市民の割合については、前年度と比較して1.2ポイント下がっているものの、目標値に対しては8.4ポイント上回っている。その要因としては生活スタイルの多様化が考えられる。

7 平成22年度基本事業の取組方針

- ・青年層が受講しやすい夜間、休日等の講座の推進を図る。
- ・自主講座や同好会などで学習しようとする意欲ある市民の支援を図る。
- ・市民の学習したい講座内容、時間帯、場所等アンケート調査を実施する。

8 平成23年度に向けた基本事業の課題・方向性

- ・自ら進んで学習できる場の提供を行うために、講座開設情報を積極的に広報する。
- ・幅広い年代層の市民に多様な学習機会を提供するため、高等教育機関と連携した公開講座を継続して開設する。
- ・読書が身近なものになるように、読書行事等の開催方法を工夫する。